

# 大牟田市立甘木中学校

## 1 本校のESDの特徴

本校では、持続可能な開発のための教育に関する価値観（人間の尊重、多様性の尊重、非排他性等）や能力を育むために、福祉や文化、人権などの課題に対し、総合的な学習の時間や生徒会活動の取り組みを中心にして、横断的・総合的な学習を行っている。そのために、全学年で「地域の人との交流」を活動内容の大きなテーマとし、人と人、社会や自然とのつながりを理解し、関わりを深められるような学習を仕組んでいる。

また、体系的な思考力（問題や現象の理解、多面的・総合的なものの見方）やコミュニケーション能力を育むため、地域のひと、こと、ものと直接関わる体験活動を重視し、生徒自らが主体的に問題解決ができ、社会に参画する態度や能力につなげられるように学習活動（内容）を工夫している。

## 2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	1 年	2 年	3 年
	テーマ：地域に学ぶ		
総合的な学習の時間（スマイルタイム）	<p style="text-align: center;">＜環境教育＞</p> <p style="text-align: center;">～自然とのふれあい活動～</p> <p>○自然体験を通して、環境について考えると共に、集団行動による自己存在感を育成する。</p> <p style="text-align: center;">＜福祉教育＞</p> <p style="text-align: center;">～体験活動を通して、福祉についての現状を学ぶ～</p> <p>○障がいを持った方の話を聞き、自分たちが住むこの大牟田の現実について考える。</p> <p>○絵本教室を行い、GTからいろいろな状況の方々の話を聞き、自分たちに何ができるのかを考える。また、福祉の重要性を考える。</p>	<p style="text-align: center;">＜キャリア教育＞</p> <p style="text-align: center;">～職場体験～</p> <p>○地域の様々な職種について調べ、グループ毎に職場への体験活動を行う。</p> <p>○働く上で大切な心構え等についてまとめ、発表する。</p> <p style="text-align: center;">＜文化・環境教育＞</p> <p style="text-align: center;">～日本の伝統文化に学ぶ～</p> <p>○大牟田の環境と産業・歴史及び文化との関わりについて再確認する。</p> <p>○京都の環境と産業・歴史及び文化との関わりについて調べる。</p> <p>○大牟田と京都の違いからそれぞれの地域の伝統・文化の良さについて発表する。</p>	<p style="text-align: center;">＜キャリア教育＞</p> <p style="text-align: center;">～進路学習～</p> <p>○高校の先生をGTとして招き、どのような高校生活を送るべきか、また、そのために中学生の時期にどのような準備（学習、生活、気構え）をするべきかを学ぶ。</p> <p style="text-align: center;">～高校の授業の模擬体験～</p> <p>○複数の高校の様々な科、コースの先生をGTとして招き、高校の授業の模擬体験を行い、進路実現に向けて学ぶ。</p> <p>○「先輩に聞く」を進路の選択に生かし、模擬面接を通して自己を見つめ、進路決定について考える。</p>
生徒会	＜福祉・環境教育＞ ○評議員会を中心に、エコキャップ回収を実施する。		
部活動	＜福祉教育＞ ○吹奏楽部の演奏会を通して、吉野病院との交流を図る。		

### 3 特徴的な活動事例

<p>&lt; 1年生 福祉（認知症ケア絵本教室） &gt;</p> <p>○認知症を理解し、家族や地域でケアをするための共通理念を学び、実践できる生徒を育てる。</p>	
目 標	<p>○認知症ケアについて学ぶことにより、人権的な視点から物事を見ることができる資質を育てる。</p> <p>○地域で認知症ケアに関わる人々から姿勢や思いを感じ取り、そこから生じた関心や疑問を探究することで、福祉に対して多面的に考え、実践しようとする態度を育てる。</p>
実 践 の 展 開	<p>①絵本「いつだって心は生きている」の読み聞かせをしてもらい、認知症に対する理解を深めた。</p> <p>②認知症ライフサポート研究会などの人たちをG Tに迎え、グループごとに分かれて、「認知症」の方々の実態や思いを学び、模造紙にまとめた。</p> <p>③全体場で、学んだことを発表し、「認知症」のことで学んだことを全員で共有し、話を聞いたり、質問したりすることでさらに理解を深めた。</p>
生 徒 の 感 想	<p>○家族に認知症の人がいなかったから、自分のこととして考えたことはなかったけど、調べ学習やいろいろな人の話を聞いて、少しは認知症について考えることができるようになりました。</p> <p>○私は将来、福祉関係の仕事につきたいと思っていたけど、いろいろな資格をとる必要があることがわかりました。これからはもっと勉強を頑張りたいと思います。</p> <p>○友達と認知症について話すことができました。自分が今からどうしたらいいか、はっきりわからないけど、少しずつ自分のできることを考えていきたいと思っています。</p>

### 4 本年度の成果と課題

<p>1年生の福祉教育（認知症に関する絵本教室）平成29年11月8日（火）</p>		

#### ○成果

- ・生徒の感想に「認知症の人が日常生活においてバリアーになっていることについて、周囲の人が協力していくことが大切だと感じました。」という記述が多くあった。生徒は、様々な人たちの現状を知り、自分がどのような気持ちを持ち、どのように行動すべきかを学ぶことができた。
- ・グループ学習を取り入れることにより、他者の考えや思いに気づき、よりよい人間関係を築くことができた。

#### ○課題

- ・ほとんどの生徒が、福祉に対する理解と自分と福祉の関係について考えることができた。しかし数名の生徒が、まだ福祉に対する実感を得ることができずに、他人事のように考えているようだった。福祉を身近な課題として考えるような、日常的な指導が必要であると感じた。